



広報

しべつ

1983.1

No. 190



初春

初日の出 闘志みなぎて 厳冬に立つ

太田明人氏撮影(茶志骨)

人口のうごき 世帯数2,187世帯(-2) 人口7,306人(0) 男3,654人(+2) 女3,652人(-2)
(12月1日現在) (.)内は前月比

面積 621.47平方キロメートル 位置 東経145度15分 北緯43度28分27秒 広ぼう 東西27キロメートル南北23キロメートル

厳しい中にも昭和五十八年の新しい年を、みなさまとともに迎えることのできましたことをお慶び申しあげます。

私たちの先人が嘗々と風雪に耐え、数々の苦難を切り拓いて、私たちに残した今日の郷土標準津は、開基以来百四年目を迎えようとしております。

いわば成熟期に入ったわが町の遺産を後世に譲りつぐため、新しい発展の出発点として、町民のみなさまとともに町政の推進にあたる決意であります。

世はまさに流動変転極まりなく、公害や環境が話題になったのは、もはや遠い過去のようにさえ思われ、その後、資源やエネルギーに関心が向けられたのち、「地方の時代」や「文化の時代」が言われるようになったかと思うと、政治気象は再び厳しくなつて、行財政改革一色に世は塗りかえられたといつても過言ではなくなつてきております。その延長線上にあつて試験を余儀なくされているのが、国鉄標準津線の廃止問題であり、はたまた国・道の予算が、ゼロ・シリリング（伸び率ゼロ）から、五十八年度はマイナス・シリリングも辞さないという姿勢を堅持して

おり、これらを背景に、全国の自治体が総じて財政硬直化時代に突入しております。

このように、本町を取り巻く状況は昨年にも増して厳しいものがありますが、これに埋没して地域の活力を失うことがあつては、大変な事態に陥ることとなります。座したままでは、地方の時代はやってきません。厳しい時代であ



新しい年に心して

標準津町長

小 野 幸 三

ればこそ、七千三百町民の英知とエネルギーを結集し、より健全なマチづくりに進捗すべき時でもあると銘記している次第です。

本町における当面する課題は、町の活性化を支柱にすえた中での就業の場の開発であり、もつては住民生活の底上げにあるといえます。

その根幹となるものは、地域産業の活性化にあり、それには、速

効性のある企業誘致と地場産業のいつそうの振興であり、加えて新産業創出の三分野から活性化の戦略を模索してゆかなければなりません。

地場産業の振興は、資源・産物の増産等に目を向けるのみでなく、さらに地域としてこれらの資源をいかに産業化に結びつけているかにあり、いわば一・五次産業の創

地場産業を一步超えた住民ぐるみの「地縁産業」へと発展させることが肝要であります。

また福祉にあつても、高令化時代の到来を深く認識し、サンタクロース福祉ともいわれたバラまき型福祉を原点から見直し、現代社会における真の福祉の追求を基底に考えなければなりません。行政の道は、人にあり」ともいわれ

出にチエを振りむけ、地域経済に波及させるかにあります。また、農・漁業に限らず、観光についても同様、薫別川の秋あじのその上を一つとつても、ただ見せるだけでなく産業観光化への方向を早急に研究するときです。

このような中で、足腰の強い経営体質を確立し、時代に即応した産業対策がなされなければならず、町民・業界・行政が一体となつて、

るように、「おもいやりのある温かい町政」が福祉の理念でもあると考えるのです。

教育・文化そして体育について

も、その根幹をなすのは、そこから培かれる人格の形成を依りどころとし、地域に根ざした、しかも変遷する時代を先き取りしたあるべき姿は何か、改めて問われております。

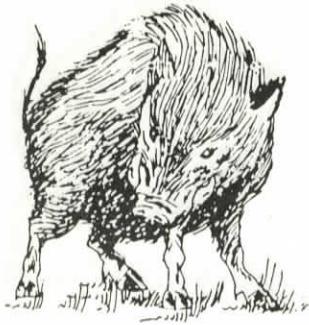
以上申し述べてまいりましたが、

国・地方を通して財政の再建を避けて通ることの出来ない今日、財政の総引締めを基調に、いかに施策の実効をあげ、町の活性化を振起させるかは、私に課せられた最大の使命であり、施策の選択にあつては何を選ぶか、いいかえれば何を捨てるかが自治体経営のポイントになつてきております。

「お役所仕事」という言葉に代表されるように、ともすれば経営観念が欠如している組織を見直し、真に地域発展の力となるふさわしい職員を育て、規格品型の画一的な行政ではなく、伝統と個性のある本町のマチづくり、味と香りを醸し出すことを念頭に町政運営にあたる所存であります。

自治の原点は住民にあります。住民の総意を町政に反映させ、かつ人間尊重を基本理念とした、和やかなかに、活力に満ちた、清新で住み良い、温かな町づくり」に全力を傾けるものであり、心からなるご理解ご協力を重ねてお願い申し上げます。

拙筆にあたり、みなさまのご健康と、お仕事のご繁昌とご一家の繁栄を願い、年頭のご挨拶いたします。



謹しんで新春の お慶びを申し上げます

輝かしい新春を町民の皆様とともに迎えることができましたことを、心よりうれしく思います。今年こそは、明るい、豊かな年であってほしいと強く望むものです。

昨年、国の内外でいろいろなできごとがありました。その中でも、私達の身近なものでは、行政改革を中心とする、「臨時行政調査会」の答申、「国鉄再建のための標準線を含む」「第二次廃止路線の

改革など、徹底して行政の無駄を省き、事業を行う場合も公共性のみの追求でなく、効率性（赤字を出さない）も求める姿勢を強く提言しております。政府においても、中曽根新内閣は、不転換の決意でこの行政改革に取り組むことを表明しております。今後は、地方自治体にもいろいろな形で影響を受けるのではないのでしょうか。

地方自治体の財政も、国と大同

の健全な運営など多くの課題をかかえております。

私達議員は、本年四月が改選期であります。昨年九月の定例会におきまして、議会が自から、行政経費の節減を図るため、改選期から議員定数を二名削減をいたしました。本年の五月からは、二名少なくなりますが、英知を結集し、健全な財政を堅持しながら、懸案の課題を解決し、住民の福祉の向



英知を結集し 課題の解決を

標津町議会
議長 大沼善雄

発表」、公務員給与に対する「人事院勧告の凍結」などであります。

これらのことは、これまでの経済成長時代には考えられなかったことであり、言いかえれば、それだけ国の財政が極度に窮迫していると言えましょう。

行政改革は、増税なき財政再建を基本として、国家予算のマイナス編成を初めとして、●行政組織の改革、●国と地方の機能分担のあり方、●国鉄等公社特殊法人の

小異と言っても過言ではありません。本町の財政状態も非常に厳しいものがあります。これからの財政運営にあたっては、臨調的視野に立って、行政の公共性、効率性などを十分見極めていくべきではないかと考えられます。

本町の今後の課題は、標準線廃止阻止を当面の課題として、農村総合整備モデル事業（約十二億円）、山村振興事業（約五億円）の着手、下水道事業の早期完成、町立病院

上と生活安定のために一層の努力をする所存であります。

昭和五十八年は、低迷を続ける経済の不況から抜け出る年になるよう強く期待をするともに、本町の過疎化傾向にも歯止めとなる年であってほしいと念願するものです。

最後に町民の皆さんのご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。



新年交礼会

標津地区：1日11時から標津町公民館

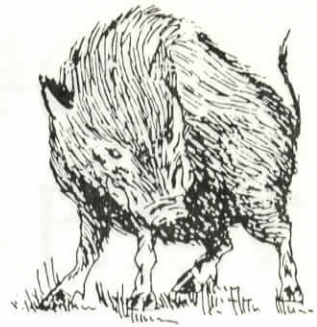
川北地区：1日10時から川北公民館

住吉・東浜地区：2日11時から住吉・東浜生活館

20歳の門出 標津町成人式

と き：1月7日（金） 午後1時から
ところ：標津町中央公民館

謹しんで新春の お慶びを申し上げます



国鉄標津線を利用しましょう

新年明けましておめでとうござ
います。

町民のみなさまには、益々ご健
勝で希望に満ちた新年をお迎えの
ことと存し心からお慶び申し上げ
ます。

平素、農協運営につきましては
格別なるご理解ご協力を賜り、厚
くお礼申し上げます。

昨年は、私共酪農にとって乳価

を示し、肉畜においても不可価値
を高め販売する等努力の結果、昨
年の農業総生産額は五十三億円の
成果を挙げることが出来ました。

然し、酪農は多額の資金投資を
必要とし、このため負債償還が経
営に大きな負担となつて居り、酪
農負債整理資金融通事業等により
長期低利への乗りかえを余儀なく
された一面も見逃せません。

て、この難局を乗り切らなければ
なりません。

昭和六十一年を目標年とした本
組合の農業振興計画に基づき、具
体的推進方策を定めて着実な振興を
図り、本町の基幹産業となる様努
力して参りたい。

本年も引続き困難な状況下での
スタートですが常に新しい内外の
情勢を見極め、事態に適合した諸



内外の情勢を見極め 事態に適合した施策を

標津町農業協同組合
組合長 理事 吉田 昇

はわずかながら値上り（一割五十
銭）したものの、生産諸資材の値
上りと需給不均衡に起因する生産
調整及び農畜産物価格の低迷等
により実質農業所得は低下し、経営
と家計に大きな影を落とした多難
な年でありました。

この様な環境下にありましたか
生乳生産では四万二千三百、前年
比一〇・三・一％とわずかな延び

農業を取りまく環境は依然厳し
く、国際社会、経済動向の影響を
大きく反映する時代となり、貿易
摩擦が強まり農畜産物貿易の自由
化要求が諸外国から強く出され、
加えて財政再建の折から農業の補
助金への風当たりが強くなる等、厳
しい局面を迎えますが、私共は国
の根幹をなす食糧生産と言う社会
的使命を認識し、長期展望に立つ

対策を講ずると共に協同の力を結
集して、あらゆる努力を傾注し、
町民各位、他業種との協調を旨と
し最善をつくして参りたいと存じ
ますので本年もよろしくご理解ご
協力を賜りますようお願い申し上げ
ます。

最後に町民皆様のご健康
とご繁栄を心からお祈り申し上げ
年頭のご挨拶いたします。

歳時期

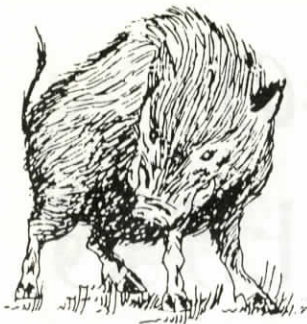
出初め式



「出初め式」には、年の初
めに行うさまざまな「事初め」
の意味がありますが、一般に
は、消防出初め式がよく知ら
れています。

わが国の本格的な消防組織
の始まりは、江戸の明暦の大
火（一六五七年）の翌年に徳
川幕府が設けた、江戸の消防
組織「定火消（じようびけし）」
だといわれています。

この定火消が、万治二年（一
六五九年）一月四日に、江戸
上野の東照宮前で、初めての
顔見世出初め式を行いました。
この日にちなんで、東京では
明治時代には、一月四日に、
その後、大正五年からは一月



謹しんで新春の お慶びを申し上げます

あけましておめでとうござい
ます。

世界の経済の流れ、国内消費の
流れは、五十六年以上の厳しい不
況化の中で住民皆様の日夜の努力
等によりこれら乗り越え、共に
新春を迎えることが出来ましたこ
とを心よりお慶び申し上げます。

また、商工会の運営につきまし
ても、町ならびに関係機関をはじ
め住民皆様の深いご理解とご協力

を賜りましたことを心よりお礼申
し上げます。

新内閣の発足と共に、その政策
による経済回復を強く望んでいる
ものの、世界経済の大流は依然と
して不況速度を変えることなく、
その流れからの脱出は非常に困難
であり、このため国内経済も、ま
た、一地方の私共を取りまく経済
環境も、一段と厳しさを増すもの
と考えねばならない年ではないで
しょうか。これらに対処するには



地域に密着した 信頼される商工会に

標津町商工会

会長 正 田 敏 一

つつあります。

観光産業の振興は、酪農・水産
業共々町の基幹産業の一翼である
との認識を強くし、今後野付半島
の自然を守りながら観光の価値を
高めてゆくことも大きな課題であ
り、全住民がこれらに積極的に参
加してゆくことが必要であると思
います。今、商工会は地域に密着
し、信頼される幅広い活動が要求
され、それらに前向きな姿勢で積
極的に努力を続けております。

企業者個々の自販努力もさること
ながら、強い協同の力が必要であ
ると考えられます。一方、さけの
ふるさとと全国的にクローズアッ
プされた秋の観光も、今年はさら
に人気のバロメーターが上昇する
ものと思われ、ボー川史跡
自然公園も着々と整備充実され、
駅前にはバスセンターを含めた観
光基地の開発も企画される等、観
光の町としての開発が力強く進み

こういう中で、今、標津の商店
街は歩道もカラートンリ、建物も
一新する等、非常に整備が進んで
おりますが、当会館のみは老朽化
し、商店街の美観上、また、今後
の商店街を考えた場合、位置的に
も問題があるため五十九年度を目
標に最も適正な場所への移転新築
を計画しておりますので、商工会
の諸事業共々、会員をはじめ住民
の皆様の一層のご理解とご支援を

心よりお願い申し上げます。町を
はじめ各関係機関、団体の方々に
は日頃何かとご理解ご支援を戴き、
心より感謝を申し上げますと共に、
今後も一層のご指導ご鞭撻を賜り
ますようお願い申し上げます。
終りにのぞみ、住民皆様のご健
康とご多幸を祈念し、さらに会員
各位の企業のご繁栄をお祈りし、
年頭のご挨拶と致します。

六日（途中十五日になったこ
ともあります）に行われるよ
うになり、現在に至っていま
す。

いまや新春を告げる風物詩
の一つとなった出初め式――
毎年、各自治体で、それぞれ
独自の行事が行われています。
なかでも、いちばん規模の
大きいのが東京の出初め式。
かつて、火事は「江戸の華」
といわれただけあって、消防
庁職員のほかには江戸消防記念
会のメンバーが参加し、「は
しこ乗り」や「木やり」など、
江戸時代から伝わる伝統的な
火消しの妙技などが披露され
ます。

こうした、江戸の風物を懐
かしむ観客のなかには、いわ
ゆるカーマニアもかなりいま
す。ポンプ車、化学消防車、
屈折放水搭車などの車両や、
消防艇、ヘリコプターなど最
新鋭の装備を施した乗り物が
一堂に会するからです。伝統
的な技法と現代の科学の粋と
――出初め式は、若者にとつ
ても大きな魅力のようです。

謹しんで新春の お慶びを申し上げます

酒・タバコ 大人のまねはやめましょう（社会を明るくする運動）

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昭和五十八年の輝かしい新春を町民の皆様とともに迎えることができましたことを心からお慶び申し上げます。

り低迷を続けております。

この影響は漁業のみならず、すべての産業に大きな打撃を与え、町全体が不況を招いております。本年も漁業をとりまく環境は、益々厳しいものと思われまます。こ

また、本年は各種漁業権の切替

年次に当り、より経済効果の上る漁業権の設定をし、経営の抜本的な改善合理化を進めなければならぬと思います。

町民の皆様におかれましても、



資源の維持増大を図り 安定した漁家経営を

標津漁業協同組合

組合長 理事 山 猛

昨年中は当漁協運営につきましてご指導ご協力を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、過ぎ去りし昭和五十七年を顧みますれば、わが国の経済は世界的経済の不況により、経済成長率は三パーセントの低成長であ

のような情勢の中で当漁協としては、将来の漁業展望に立却し、さけ・ます・ホタテの増養殖に努め資源の維持増大を図り、秩序ある操業と資源の適当な配分により、漁家経済の安定向上を図って参りたいと存じます。

当漁協発展のためご指導ご支援を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。

最後に、町民皆様の益々のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。て年頭のご挨拶と致します。

白樺の原生林に囲まれた

金山スキー場
せせらぎの宿

へどうぞ

*詳しくは

せせらぎの宿

☎2172

スキー場管理棟

☎2467

健康一口メモ
それほんと？

牛乳を多く飲むと
ガンに
なりにくい

国立がんセンターによれば牛乳を一日三百六十cc飲んでいる人では、胃がんは確かに少ないそうです。根拠の一つとして、ガンの中で日本で一番多い胃がんの死亡率が、二十一年間で約三分の一減ってきていることです。その間に最も変化した食生活は、牛乳や卵のとり方で、牛乳は二十七年間に二十三倍に増えています。地域別にみても、牛乳・卵を多くとっている県ほど、胃がんは著しく減る傾向があるそうです。

然し、この期間に胃がんの早期診断が可能となり胃の集団検診も実施され、当然早期治療によってガンの死は減っています。つまり牛乳を多く飲むことと、ガンになり難いことの因果関係を直接証明する事は難しいと考えられています。

飲酒運転防止は「三ない運動」の

実践から

一月は「新年会」などで、何かとお酒を飲む機会が多くなります。この時期、ドライバーの方に特に注意してもらいたいのが飲酒運転による事故です。

お酒を飲むと、自分では酔っていないと思っても、感覚は麻痺し、素早い判断や行動ができなくなります。

具体的には、前方の人や車の確認が遅れたり、見落としたりするほか、気が大きくなり危険を危険とも思わなくなってしまうなど、非常に不安定な心理状態になります。つまり飲酒運転は、交通事故と背中合わせになっているのです。飲酒運転の防止には、ドライバ



ー自身が気を付けるだけでなく、家族、地域、職場ぐるみの注意が必要です。

そこで、ぜひつぎの「三ない運動」を実践してください。

▽飲んだら乗らない
▽乗るなら飲まない
▽乗る人には飲ませない

また、酒類を提供する飲食店経営者の方は、車で来ているお客さんには十分配慮し、酒類は絶対に出さないとか、お酒を飲んだ場合は、車のキーを預かるなどして、真の思いやりで飲酒運転を防止しましょう。

入館者三万人突破

歴史民俗資料館

「ピラミッド型の建物」として町民のみならず観光客に注目されていた「歴史民俗資料館」も、昨年十一月二十五日で閉館しました。

昭和五十五年九月オープン以来入館者は三万人を越えました。昭和五十七年度の入館者は一万五千四百九十二人で前年度より五〇％の増加となり、入館者の内訳は道内からの入館者が約七〇％を占め、とくに、釧路・根室管内の小学校の見学、修学旅行のコースに組ま

れているのが目立ちます。

町教育委員会では、今後もカリウス遺跡や標津湿原の保存に努め、本町が本格的に開発された明治十二年当時をしのぶため、農家・納家・学校（以上は完成済み）・漁家・水産工場・商店・倉庫・役場・郵便局・旅館等を復元する開拓の村を整備し生活実演も考えています。

今年も五月に開館を予定しており、今までの催しを計画しております。

電気災害防止に 漏電しや断器を

洗濯機・温水器・自動販売機などの電気器具を、水気があるところで使用するときには、漏電しや断器を取り付けることが義務づけられています。

漏電しや断器は、配線やコードの被覆が傷んだり、電気器具が故障して万が一漏電が起っても、直ちに電気を止め、感電や火災などを未然に防ぎます。

取り付けに関しては、最寄りの電気工事店または北海道電気保安協会中標津出張所に相談ください。

本町の交通事故死ゼロ一月二日で七二九日を達成します

ズーム・イン
サークル⑬

川北婦人学級

代表 渡辺宇良子

私達の婦人学級は、公民館活動の一環として開設されました。現在会員は十四名おり、例会は年五回行っております。

一回目の健康体操では、標津の体育館の職員と、地元の中学校の先生に来ていただき、ストレッチ体操と、ジャズダンスを教えていただきました。ジャズダンスでは、軽快なリズムに重たい体を乗せるのに苦労しましたが、ひとたびリズムに乗るとやめられない程楽しいものでした。また、二回目の人形作りや三回目の和紙工芸では、会員の中に器用な方がたくさんおられるので、みんなで説明書を見ながら教えたり、教えられたりで、楽しい作業となりました。完成した作品は、文化祭にも出品さ



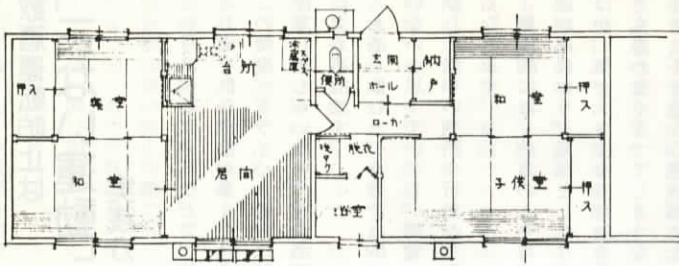
せていただき、人形は今も公民館のホールに飾られています。これからの活動予定は、料理、菓子作りで、食べることだけが残ってしまいました。会員みんなで腕をふるい、おいしい料理に挑戦したいと思っています。働く主婦の多い川北地区では、夜七時に集るのは大変なことです。が、みんなで楽しく話し合いながらいろいろな作品を作り上げてゆくのは、ストレスの解消にもとても効果的なことだと思います。

来年度も開設されるのでしたら、できるだけたくさん主婦に呼びかけ、今年度以上の楽しい集いにしたいと思っています。

公営住宅 入居者を募集

昭和四十年に建設した公営住宅一棟四戸を一棟二戸に改築し入居者を募集しています。

●募集戸数 二戸 ●団地名 鳩ヶ丘団地 ●面積 六九・四二平方尺(四LDK) ●家賃 二万二千円前後 ●入居条件 六人以上の家族 ●入居時期 二月中



お誕生おめでとう

おなまえ	住 所	保護者
小田 将志	弥栄町	純雅
高橋 靖弓	旭町	良昭
勝瀬 央	木町	瑛雄
金沢 未彰	伊茶	仁雄
山崎 亮	西北	津栄
村上 雄	北共	幸頼
宮田 明	旭町	和彦
上別 裕	桜木	正人
桜井 茜	寿町	

おくやみ申し上げます

おなまえ	住 所	年齢
平野 キワ	桜木町	77
畑 千代美	弥栄町	76
大場 良見	共栄町	69
里見 正一	鳩ヶ丘町	62
飯島 竹治	旭町	66
合田 次数	共栄町	81

11月16日から12月15日までの届け出分です。敬称を略させていただきました。

寄付 ありがとうございます

町社会福祉協議会へ

活動資金として

聖友 標津

中標津ロータリークラブ

南 孝 薫 別

香典返しを廃し

角田 秀夫 緑 町

中野 佐市 崎 無 町

大場 スガ 共栄町

償却資産申告書、給与支払い報告書等の提出は二月三十一日までです

●申し込み方法

申し込み書に給与証明書を添えて一月三十一日まで役場総務課に提出してください。

詳しくは、総務課管財係内線105までどうぞ。

合田 サキ

共栄町

●新築開店祝いとして

後藤 一郎

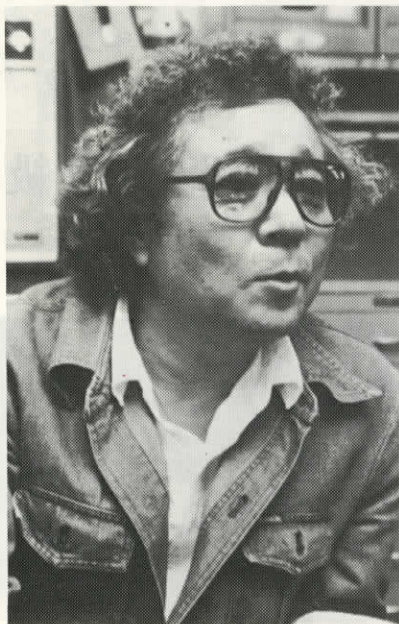
栄町

(敬称略)

標津町へ

町内で燃料小売店を営営する太平洋石油販売(株)標津営業所(所長・森常雄氏)、(株)近藤商店(代表取締役・近藤忠男氏)、標津アポロ石油(代表取締役・後藤十郎氏)(三共燃料(代表取締役・高橋良子氏)の四社が、交通遺児のために役立ててくださると十五万円を寄付されました。

これは本町が推し進めている新生活運動をご理解くださり、お客様への歳暮を廃し今年で二回目となったものです。



「釧路川」をテーマにした 歌詞を募集します

NHK釧路放送局
開局45周年記念

多くの人に愛され、ながく歌われる歌が生まれることを期待しています。応募作品のなかから入選一編に、作曲家・船村徹さん(写真)が曲をつけます。

皆さんを迎えて釧路放送局第一スタジオで行い、入選者には賞状、記念品を送ります。

発表は、二月六日(日)、船村徹

募集係です。

「釧路川」歌詞募集係です。

応募要領は、一人一編(未発表のもの)で、四百字詰原稿用紙に作品と住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記の上、一月十五日(土)まで申し込んで下さい。あて先は、〒085・釧路市幣舞町三八、NHK釧路放送局「釧路川」歌詞募集係です。